大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞　夕刊　九月八日（日）
定價　一部　金五錢　一箇月　金八十錢
郵送料　一箇月　金一圓　一箇月　金一圓五十錢
發行所　新京日日新聞社　新京市大同町二丁目一番地　電話二二五番・三三〇〇番
發行人　柴田忠男　編輯人　松本十郎　印刷人　谷啓二郎

ボルネオ島に日本品要望の聲旺ん

綿製品の輸入を申込み來る

〔東京七日發國通〕蘭領東印度のボルネオ島に於て邦人がしてゐるボルネオ林業株式會社は、包攬職工獨の如き完全に一萬人を突破する程で同社の盛裝は同地方の經濟的興亡に關すると稱される程で、之が爲同地方の土人間には日本品に對する要望高まり日本製の商標あるものは奪ひ合ひの有樣だが、同社では最近社内に購買組合を設け優良且つ廉價な品を同社内の土人に支給する計畫を樹てた所ボルネオ地方の有力者は擧つて購買組合で取扱ふべき商品を出來ただけ日本品に仰ぐ事を主張し、旁々蘭領東印度政府でも大いに乘氣になつて來たので同社では先づ日常用の綿製品は之を全部日本内地より直接購入し

一度き一　旨此程南洋協會を通じて日本織物聯合會に申込んで來た

高田部隊

凱旋の途に就く

〔大連七日發國通〕歸く第六師團の凱旋殿り軍高田部隊は七日午後五時大連埠頭出帆御持株四十萬株中三十五萬株を公開した譯である

中國航空會社の上海、廣東航路開く

〔東京七日發國通〕石射上海總領事よりの報告によれば中國航空公司の上海、廣東航路は十月十日正式に開始することになつたが、當分月水金曜日に行はれる豫定である

用船宇後丸で小川市長、御影池民政署長以下一般市民の熱狂的見送りを受けて淚しの母國に向け晴れの凱旋の途に就いた

大通電話工業會社

一兩日中に誕生

社長には增尾榮之亟氏

彪大資本を擁せし滿洲電信電話會社の下に諸工事進工上如何なる組織の工事會社が生れるか明待せられて居たが、有無線電信電話交換機其他通信に關する機械器具並に材料の製造販賣、ラジオ受信機並に部分品の製造販賣、各種電柱電線類增設、私設の電話工事其他取扱さして資本金二千萬圓で「大通電話工業株式會社」が生れた、社長には和歌山、三重、奈良縣の電話工業の特許所有權者なる增尾榮之亟氏技師長には逓信技師阿坂雅人氏就任の筈で新京では宮本信七氏創立事務に當り中央銀行總裁榮厚氏初め阿川組宇野常吉、西脇洋行新宅啓吉氏等發起にて朝日通六九の宮本氏方に看板を擧ひたが一兩日中に一瀉千里に總會も濟ませ登記の筈であるが有力者揃の事さて順調に運び新會社の前途明待せられてゐる

荒木陸相

宇都宮へ向ふ

〔東京七日發國通〕荒木陸相は宇都宮師團視察の爲め七日午前八時上野驛發宇都宮に向つた

三井物產

十五萬株を保險團へ

〔東京七日發國通〕三井物產では今回更に所有株中十五萬株を生命保險團へ、八萬株を賣却さ決定した、之で物產は持株四十萬株中三十五萬株を公開した譯である

軍事費問題は早晩解決する

增稅問題は藏相と同意見だ

山本内相車中談

〔淺川七日發國通〕山本内相は地方行政視察のため七日午前十一時三十五分發列車で長野、新潟縣下に赴いたが、車中左の如き時局談を試みた明年度の豫算編成については陸海軍が大分强硬意見を持つてゐるやうだが如何に國防が重要であると言つても列國の軍備擴張を刺戟するやうな事は避けねばならぬと思ふ、軍事費の問題について五大臣會議を開き色々相談してゐるやうだが軍部側でも財政上の考慮なしに軍事費を要求すると言ふ譯はないから何れ圓滿な解決に到達する事と思ふ、增稅問題は藏相と同意見だ

武德會

秋期定期試驗

京都武德會本部では本年秋期武道定期試驗を左の通り施行する由

一、場所　京城武德會本部
弓道　十一月四日（術科）午前九時開始
同　五日（學科）同
劍柔道　十一月十五日（術科）同
同　十六日（學科）同
請求書受理期限
弓道は十一月一日劍道は十一月十二日午後四時迄

新京特別市政に就て（一）

新京特別市長　金壁東

大同元年暮春、曙光照々さして萬象に映へ、瑞氣澎湃さして滿土に磅礴する時、不肖壁東躬を以て新京市長の職に就き茲に二星霜を閱せり、此間にありて新京市政日に進歩し趨き、豫定計畫著々實行の緒に就き、而日日に月に新たなる時之が記述を必要さすべきは自に明かなる處なり、余茲に鑑る所あり、公務の余暇を以て本市一ヶ年來の施設概要を略述せんとす、德事實相に則り計畫高遠に渉らず卑近なる市政たり輪廓を備ふるに止まり、而かも改變の後を承けて地方邑殷の事業區々として秩序を失ひし滿次新規企劃を行ひ綜覽を投じて建設に當りてより秩序漸く恢復し安全に還りたるを以て商賈再び此に集りて業に服するに至れり、顧るに市政は現代國家施設の急務にして凡百の政務皆市民日常生活と相關與せざるなし

故に舊態を一新し進歩を謀らざるべからず、況んや新國家施政は一に人民の福利を以て前提さなし都市は國家施政の中樞たるを以て努めて之が善美完成に力を致さざるべからず、故に余就任の初全市の福利增進を到下の急さなし法規を訂正し建設を實行し凡そ市民さ利害相關するものさして之を企圖せざるなし、即ち或は橋梁を架設し水道を敷き道路を修理し或は父家屋を整頓し公共衛生を促進し地方十九個小學校を接收し社會事業を興し建國智識を普及する等市政萬般の刷新を計れり

新政の著功敢て誇るべきなしと雖も之を吾日に比すれば既に長足の進歩ありさ言ふべし

國都既に奠り本市は更に國家政治の中心さなれり、中央は本市を以て首善の區さなし定めて新京特別市さなせり、爾來區域既に擴大し漸次分明し市制の基礎日に堅まり民衆の福利明して待つべきに至れり、茲に本市過去の事績さ未來の計畫さを分別略述し關係に供せんさす

珠玉を碎く

（百三十六）

最後の舞臺（一）

吉井勇（高根秀浩畫）

藤無藤上映上演

露子が目を覺ました時には、何時の間にか女中が雨戸を開けて行つたと見えて、築地川の水の反射が、きら〜と林頭の障子の上に光の環を描いてゐた。

「あゝ、よく眠つたこと……。今何時なんだらう」

露子はさう思つて枕頭の小さなもう一つ、指環や紙入れやな倉の海岸でちよつと會つてから、ふかと一緒に入れてあつた、女持妙に心を惹かれるものがあるのを感じ出して來た。それは未練といふよりも、もつと强い心持だつた。

そしてその心持は翌朝十日ばかり前、丁度日本劇場が千秋樂になつた翌くる日に、本郷座に市川蔦之助一座が出てゐるのを見に行つて、偶然出會つた二人の體を、すぐまた元のやうに引き寄せてしまつた。二人はその晩久しぶりで大森のグリーンホテルに自動車を走らせたのであつた。二人はそれから抵抗のやうに會つた。殊に情交になつたかといへば、それは唯さういふ機會が來たからのことである。修善寺であんな心にもない別れ方をした二人の胸には、鎌倉の海岸でちよつと會つてから、ないで、またこの十日ばかり前から以前のやうな戀人として交際つてゐる英一のことばかり考へられた……。

何うして二人がまた元のやうな

少女の一役だけだつたが、それが二月興行の稽古が始まつてからはまたひどくむづかしい役なのだつた。阿藤と一緒に行乞に出た、婆羅舎を、舍衛城の途上で誘惑しやうとするところの繁詞だけでも、紙數にして少くとも十二三枚位はあつた。

露子は不圓まだ臺詞をひとつも覺えてゐないことを考へると、何だかもうぢうぢしてしまつて、起き上がる氣にもなれなかつた。

「眠になつちまふわね。あんなむづかしい臺詞……あたしとても二日までに覺えられやしないわ」

心の中でそんなことを呟きながら、昨夜寢る時に隠み隠けて、そ持つてゐた。

のまゝ枕の傍に置いてあつた書を取り上げてから、ぼんやりそれを擲げて見た。が、そこに書いてある文字はみんな象形文字のやうに目に映つて來て、何ういふ意味の事が書いてあるのだか解らなかつた。仰向けに寝ながら書きまつたやうに、彼の女の考へてゐる臺詞はちつとも眠に入つて來ないで行つた……。

何處かへ妻を時ましたのではないかといふやうな疑さへあつた。露子は鎌倉の海岸で聽いた音樂があるので、何となくさういふ疑ひを持つてゐた。

『あの人あたし氣味が惡いわ、しかしあたしはあの人に會ふと……』

露子は不圓そんなことを考へて微に首を振りながら目を瞑つた。

日日案内
三行　一回金五十錢　一箇月　金三十錢
五行　一回金八十錢　一箇月　金五十錢
十行　一回金一圓五十錢　一箇月　金一圓
姓名在社　一回金十錢增
御申込みは電話三三〇〇番

貸家　新築二階建家賃百圓　電話三七三二番　實洋行

貸家　住宅向二階建建坪四十坪　姓名在社

貸家　新築貸家及商店向貸家アパート式貸間十數間有　興運路執政府前電木町　青木商會　吉田

貸室　會社又は事務所向及住宅食堂附近日落成場所梅ヶ枝町三ノ六希望者は午前中又は午後六時後乞來談　中央通五〇新部ビル事務所　電話二七六四番

貸事　務所二間電話附場所日當八島通御希望の方は　電話四九三〇番へ

下宿　問合せは第一道　電話三八〇二番へ

求貸　室寫方獨身社員附帶なる貸室賄付を望む　電二〇六三番

讓店　目下盛業中の食堂目抜の場所御希望の方は左記へ　蓬萊町一丁目一番地　電三四三二　德本商店

支部長　誰れも出來地方にて大歡迎月收多大權威ある高尚で簡易有望業務ハガキで申込次第詳則送る　東京市中目黑十四　國民教育奬勵會

土地住宅家屋電話　賣買並仲介斡旋切に御紹介致します　新京室町二丁目一番地　紹介處　萬成社　電話四八八四番

眼鏡の御用は金華堂へ　吉野町二丁目　電話二六四五

滿洲國政府公報　雜誌販賣開始　大阪東京朝日社　朝日新聞　栃尾新聞舗　市二條通廿一　電二三四二番

貸　貸出勉强・保管確實　流行品安賣　祝町三丁目七四　博多屋　本店大連

TM式W.C　設計並ニ調度　御轉居先住宅の消毒及掃除並ニ御塵理　御一報次第參上　衛生器具一式……販賣　岡村洋行　新京市日出町　三七一七六

金州澤庵　御待ち兼の新物いよ〜出揃ひました　是非御用命の程願ひます　朝日通七一番館事館前　岩崎支店　電話三四九四番

滿洲丸　雄基・清津出帆　毎六・十六・三六日（月二回）
天草丸　雄基・清津出帆　毎一・二・三・三回（月三回）
北鮮經由東京へ
東京より京城へ
一路列國へ
北日本汽船株式會社　代理店　北鮮運輸

うなぎ蒲燒ト丼　すし竹食堂　日本橋通　電話二七二四番

冬服御注文前に
一度勝又の生地を

他店で御調製なさるにしても嶄新と高級、品の豐富を標榜して居る勝又の生地も一度御覽下さいませ勝又の誇りとして居るこの最新流行生地を御覽下さいますだけでも結構です

（例一帽大第見本地持參）

新京日本橋通（本店大連）
勝又洋服店　新京出張所　電話三四二五番

愈々開店
◇一品料理に良い酒が安く飲めます
滿月バー
どうぞ一度お試し下さい
御來客樣に粗品進呈
電話二九七三番
祝町三丁目角

庭木植付の絶好期が訪れました！
永年村田逍遙園が根廻し致しましたものは西公園三角地に植付けてあります御注文は今の内に御願ひ致します
庭木各種　石壁各種　花栽各種　生栽各種　生花道具　飾物肥料
新京吉野町一丁目
合資會社　村田逍遙園
庭師　村田清一　電三七二八番

賣出中のパレイを御利用願ひます
毛皮では古い歴史を持つパレイで御座います
店は品物が山積のパレイを御選び願ひます
編物類から洋品百貨は他店さは其の趣きを異にして居ります
ネクタイ毛皮下着カラー　オーバー背廣帽子まで全部整ふパレイにて御用命願ひます
新京日本橋通四四
毛皮商　洋品類　洋服部　バリスパレイ

食道樂　千島　電三〇三八

印刷機械及材料　各種印刷製本　卸小賣　北原紙店　電話三一四〇一

外交と國防を繞り五相會議意見對立

このまゝで對立して行けば重大事態發生せん

〔東京八日發國通〕五相會議の高橋、廣田、齊藤の三相は強いて孤立外交を持續し他國と事を構へるを避け、協調を主とする平和主義で國際時局に對應すべきで先づ列國を刺戟する計畫は絶對に控へねばならぬ、之に對し陸海兩相の主張は、我國の客觀情勢は欲するとも否とを問はず孤立を覺悟せざるを得ぬ、我國が他を刺戟してるるか、してるないかは周圍を觀察すれば判斷し得やう、と正反對の見解を有し、お互に讓らず妥協は容易でなく軍部の主張が拒否されるか歪められる場合陸相對政府關係に重大な事態の發生を見るだらう

第二次日印民間協議會で倉田氏堂々の論陣

〔シムラ六日發國通〕第五次會商に於ける日印兩國政府代表正面衝突の後を

「受け」 第二次日印民間協議會は六日午前十時半から開會され、日本代表部は印棉不買決議の巨彈の掩護の下に日本綿製品に對する禁止的高率關稅引下げ案の一本槍で堂々論陣を張める根本方針に基き印棉買付量決定案の如き關稅引下げの實現を見ぬ限り論議の餘地が無いとの態度を闡明にした、會議劈頭倉田破三氏は印度の紡績業界が高度に合理化を遂げた日本當業界の現狀を無視し徒に報復ダンピングの非を鳴らし殊に七割五分の禁止的高率關稅を賦課する如きは徒に日印通商關係を障碍し日印兩國傳統的親善關係を阻害するに過ぎないと印度側を攻撃、これに對し印度首席代表モディ氏は日本綿製品に對する七割五分の關稅賦課は國内の幼稚産業保護の見地から誠に已むを得ない旨力説し、第二次民間協議會では倉田代表の主張が時間の

「大半」 を占める印度代表は印棉買付量決定問題を持ち出さず、明に機會を狙つたが遂に要領を得ず專ら前哨戰に終始した

日濠通商條約交渉開始せん

〔東京八日發國通〕濠洲聯邦政府の對英帝國特惠關稅一部改正並にダンピング稅實施の計畫に就き六日我外務省より在シドニー村井總領事に問合せた結果、右改正案は即時施行するものなる事が判明したが仍つて外相は右に對する應急措置として聯邦政府の嚴重なる反省を求むると共に根本的對策として、日濠通商條約交渉を開始する要ありとし、村井總領事宛七日其準備交渉方を命じたので同交渉は愈々近く濠洲政府との間に開始されるであらう

通商審議會十四日に開會

〔東京八日發國通〕外務省内通商審議會第一回は二日遲れ十四日開會する事となつた

紡績聯合會で差別對策を協議

〔大阪七日發國通〕紡績聯合會では七日正午より綿業會館でシムラ會商に於て問題となつてゐる印綿布の關稅率の差別に關し、對策協議の結果

一、オツタワ協定の特惠率たる一割以上は認めず

一、印綿不買に關し流説あるも會商の結果が滿足を得ねば特惠せず

等を決定散會した

日印通商條約延長案近日中に松平大使に急送

〔東京七日發國通〕十月十日を以て期限滿了の日印通商條約延長案全文は七日樞府會議で滿場一致可決をみたので政府は即日上奏御裁可を經た上今週松平大使に急送することになつた

印綿不買に最低數量買付契約を持出ず

〔シムラ七日發國通〕印度政府は印綿の收獲を靜視して居りシムラ會商の停頓に依り事態が印度に不利となるを非常に喜れ入日の當業會議に際しても モディ氏を通じて妥協の余地がないかと探りを入れ結論打開に焦慮して居る即ち三十日説が澤田代表が印棉不買は當業者のやつて居ることで政府はあづかり知らぬと突ばねたので印度側は不買中止を正面から切り出しにくい立場となり五日の印綿最低數量買付契約締結を持出して間接に不買中止を希望した模樣で日本としては此の際歇化するは不利と觀られて居る

中野正剛氏政界より勞働界に遞友同志會會長に推され

〔東京七日發國通〕遞信從業員よりなる遞友同志會は赤松一派と分裂して以來不振を傾めて居るので今回關民同盟の中野正剛氏を會長に推すに決定、中野氏はこれで政治より更に勞働運動に乘り出すことになつた

蔣駐日公使歸任の途につく

〔上海七日發國通〕駐日支那公使蔣作賓氏は六日南京より駈けつけた外交部次長と最後的打合せを了し對日外交局面打開の秘策を胸底深く藏しつつ七日午前十時出帆の秩父丸で支那側要人並びに有吉公使等多數の見送りを受け歸任の途についた

眞珠灣の軍備を更に擴張ス海軍長官語る

〔ホノルル六日發國通〕キューバパナマ島を經てハワイに來り軍備狀態を視察中であつた米海軍長官スワンソン氏は六日朝ホノルル着ハワイ島に向け出發した出發に先立ち同長官は左の如く語つた

眞珠灣は米國海軍の主要根據地として既に選び濟みで今一つの根據地としてはパナマ太平洋岸のココソロが考慮されてゐるが、眞珠灣は更に擴張する必要あり歸米の途中艦上で計畫を樹てる積りである

方振武無電を以て何に降伏を申込む

＝目下代表北平で折衝中＝

〔北平七日發國通〕方振武、吉鴻昌兩軍は依然中央軍との間に交戰を續けて居たが、六日方振武は無電を以て何應欽に對し降伏を申出で同時にその部下三千の解散費として十萬元の支給を歎願して來た、之に對し方振武が誠意を以て降伏するなら解散費も支給し且つ方振武の地位をも保證する故速かに代表を派遣せよと命じた、依つて方振武は旅長王榮を何應欽の下に派遣し來り目下投降條件等に就き協議中である

南京政府が公債一億元發行を計畫す

〔東京七日發國通〕日高南京總領事よりの來電に依れば、南京政府は民國廿二年五月宋子文が財政部長に就任以來本年二月末迄收支の均衡を得て居たが、その後歲出增加の爲四千九百萬元に達する赤字を計上せる爲、之が對策として一億元公債發行を計畫し、過日の行政院會議で可決政治會議へ回付した

山田辯護士取調べらる

〔大連七日發國通〕山田辯護士の取調べは正午一先づ中止されたが高井檢察官は語る取調べは午後も引續きやるが山田辯護士の口から新事實が出るかどうか新らしい人物の取調べを始めるかどうかも調べて見ねば判らないが、然し輿想に委せる外ない、山田氏は今の所收容する必要は先づなからうと思ふ

一方山田辯護士は相變らず落着なく語る

どうも自分獨り惡者になつて了つてこれといふのも安東君がしつかりして呉れないからだ、出發する時自首の手續もして置いたのだから自分の言つた通りして呉れるとこんなことにはならなかつたと思ふ、見玉博士は渉河口署の峻烈な取調べを受けたり留置されたりして頭が混亂してゐるので藥をつかんで浮び上りたい氣で自分の事を言つてゐるものだと思ふ

變電所襲撃は自分の創案だ橘被告の陳述續く

〔東京七日發國通〕五・一五民間側公判は七日午前九時二十分より開始され、橘の陳述に入る

決行參加を勸めたのは古賀清志だ、決行に對し權藤さんは警戒嚴重で事前に捕はれる故中止する樣と注告され、この旨古賀に話したが一笑に附した、變電所襲撃は自分の創案だ、昭和七年四月十六日古賀清志が議會S銀、新聞社襲撃を換論したが關員には尊敬すべき代議士もあり、日銀は一般に迷惑をかけ、新聞社は輿論機關故反對したと述べた

裁判長「被告は何故塾生に襲撃をさせ滿洲へ逃げたのか」

橘「自動除の一切の指揮は後藤に委せ自分は病弱故足手まとひになると思つて逃げたのだ」

と述べ三時四十分閉廷

滿洲文化委員會設立に我國より學者派遣

〔東京八日發國通〕日滿文化提携のため滿洲國では滿洲文化委員會を組織し我國の學者を招いて來たので外務省文化事業部ではこれに應じ左の諸學者を派遣することになつた

△東大側

文學博士　服部宇之吉
工學博士　關野　貞
文學博士　池内　宏
帝室博物館監査官　澤口禎次郎

△京大側

文學博士　内藤虎次郎
文學博士　濱田　耕作
文學博士　羽田　亨

一行は九日より個々に出發、博物館の施設や清朝實錄四庫全書復製刊行が第一の仕事である

滿洲國派遣司法官大審院檢事古田正武氏に決定

〔東京七日發國通〕滿洲國司法權確立のため司法省では同國の切望を容れ派遣する司法官を詮衡中のところ大審院檢事古田正武氏が直ちに承諾したので滿洲國司法部と打合せの上數日中に退職の發令を爲す筈である、それと同時に滿洲國政府より同國司法部の樞要な地位に任命される筈である

イルズ孃再度の出發に墜落失敗す

〔パリ七日發國通〕再度の日本訪問飛行の途天候不良のため引返した佛女流飛行家イルズ孃は六日夜半再び出發し上昇すると見るや忽ち墜落失敗に終つた、イルズ孃は微傷だに負はなかつたが再度の失敗を惜しみ涙に暮れて居る

シムラ會商の英代表二十八日歸國の豫定

〔シムラ七日發國通〕確聞するところに依れば英國代表は歸國を急いで居り來る十四日ボンベイ發の豫定であつたが汽船の都合で出帆が二週間遲延した爲來る二十八日に變更された模樣であり、英代表は出發當時より往復三ヶ月の豫定であつたものゝ如く、之に依つても帝國側は最初から印度や、日本とも別に確とした協定に達せんとする誠意を以て來たものでない事が明かである、英國代表は我シムラ會商の經過如何に拘らず二十八日に歸國せんとするのは英國に於る日印會商で最後の決定を行はんとする肚かとも觀られてゐるが、何れにせよ二十八日以後にはシムラを去らねばならぬ、その頃には日印政府交渉もユーデリーに移されることが略々確實なので日印會商は五六回で大した成果なく終るだらうと觀られてゐる

國民同盟全體會議で選擧法改正問題論議

〔東京八日發國通〕國民同盟は七日午後本部に全體會議を開き、秋田議長は政民兩黨から希望された選擧法改正共同調査の件に關し意見交換後選擧法改正は選擧の廓清を目的とし、之に依つて議會振興を圖らんとするは見當違ひとの論もあつたが結局可決された

光岡慈昭氏軍囑託に

祝町西本願寺主任光岡慈昭氏は今回關東軍囑託として新京衛戍監獄教誨師として九月二十五日附で任命された

人事往來

▲染谷保藏氏（本社代表盛京時報社長）八日朝來京ヤマトホテル滯在中

工事請負
工加灰伴・事工生衛・道水・房煖
賣販造製材建・事工帶附他其

行洋備吉
番〇六七二（工場）・三八三二番電話

新入荷品
ライカD型カメラ
ライカ望遠レンズ
ライカ廣角レンズ
ライカ用引伸機（ヴアロ井）
コダツクナーゲルカメラ各種
（町野吉）座銀京新
部賣販館眞寫乾
番〇九三二話電

ダージリンの精アツサムの粹　兼備　風味芳香
眞に世界に誇る可き純國產
三井茶園製
日東紅茶
（市内各食料雜貨店に有り）

宮内省御用達
純粹清酒　月桂冠
宇町　藤村商店　電話二四二四番

燃料經濟化の發明優秀品を揃へて實物實驗に供します
第二回　煖房器具展覽會
會場　祝町西本願寺境内
日時　十月　十五日（日曜）十六日（月曜）十七日（祭日）　三日間
出品申込期日　十月十三日
主催　新京日日新聞社

新京區告示第十九號
昭和八年十月一日施行新京區地方委員會委員及豫備委員總選擧ノ結果左ノ者氏名選擧ノ委員ニ確定シタリ
昭和八年十月六日
南滿鐵道株式會社
新京地方事務所長　荒木章氏

區別居所名

地方委員會委員
常盤町二丁目五ノ一　宮城潤明
羽衣町二丁目九號　中山恕世
錦町一丁目三ノ二　山口義人
同　中央通五番地　五味武太郎
同　入船町四丁目三九ノ二　沼田勇
同　老松町一六番地ノ二　大原寛千百
同　千鳥町一丁目三ノ二　得丸助太郎
同　中央通二八番地　勘崎仙英
同　日出町二丁目八番地　加藤金保
同　祝町二丁目一九ノ四　佐藤宇治太郎
同　千鳥町一丁目三ノ二　上田賢象
同　富士町四丁目一番地　孫化南
同　日本橋通六〇番地　伊東正夫
同　祝町四丁目九番地　宛榮臣
同　三笠町四丁目三番地　劉鳴岐
同　日本橋通八五番地　黑田
同　吉野町四丁目三番地　王紹庭
豫備委員
同　日出町四丁目六番地　張惠卿

どつしり落着いて 天晴れ名議長

われ等が代表にふさはしい 明朗、大原さん打診

議長は蓄音機のラッパの役目だ、委員會は機械なら自分はそのラッパをつさめてそれを外部に放送すれば事が足りる……

明朗議長として早くも好評さく〳〵、吾等の議長大原さんが初議長としての第一聲はそれだつた、議長當選の翌る朝新議長としての抱負を聽くべく訪ねた記者

「議長としての御抱負を――？」

さいへば「堅苦しい話なんぞ辯ぢやない、自分には抱負も何もない、唯だ白紙で誠心誠意やる……これが僕の信條だ」と議長としての堅い決心をほのめかしたものだ

□――□

「僕は議長として和かに議事をすゝめたい小我をすて大我に就きたいと思ふ、各委員にはいろ〳〵の意見も出やう、さりながらそこに私慾がなく誠心誠意さへあれば彼我相通ずるものがありあす正は正として纏まるものと思ふ、僕は議長としては無論初めてで技術上のことについては何事も經驗ないけれども、そんなことは大した問題でないと思ふ僕には私慾がない、必ず新京市民のため働く堅い決心だけは持つてゐるつもりだ議長として必ずやつて見せる、若しそれに失敗すれば潔く挂冠するぞ」

□――□

かう語るところ新人大原議長の面目が躍如たるものがあり体重二十一貫餘の堂々たる体軀をソファにドシリもたせて終始ニコリ微笑みながら話はそれからそれへ極めて落着いた態度で靜かに物語るのであり、新議長の趣味は硬軟何でもござれ、殊にスポーツなら何一つやらぬものはない

「學生時代には柔道もやればテニスもやる、ボートもやればゴルフもやる、何一つやらぬものはなかつたが今頃は仕事が忙しいのさそれにテニスなどやればすぐオーヴァーワークするので

近頃は專らゴルフ位に止めてゐる、僕の長唄は有名だつて？ハヽハヽハヽ……長唄は隨分長い間やつたからナ」

長唄にかけては一寸お天狗さいふところ相當自信はありそうだ

□――□

氏は晶等學校時代まで極めて神經質のたちで嫌ひな者には誰にも口をきかないさいふほどだつたが、その後すつかり生れかはつたやう？朗らかな性格の持主となつた

「僕は學生時代に口も聽かず嫌つてゐた學友の一人が世間に出てから大變によい男だつたことを認識した、それ以來人間は一寸見はどうあらうとよくつき合つて見なければ判らない、で世間からどんなに惡くいはれる人でもよくつき合つて見たうへでその人を批評したいと思ふ

□――□

人間大原氏はたゞのお坊ちやんではない、もう既に人間として完成された人だ、大學を出て齢三十歳で既教育補充兵として三ケ月を送つた氏は歳下の兵隊さんと伍して教練にも加はれば便所のお掃除もやる、そうして得た感想は

「軍隊教育は無論國防は第一義だが、しかし無駄な教育はしてならない、その一は共同精神の教育だ共同のために公衆の幸福のためにするとなれば誰れが便所の掃除をやつても一向差支ない

その二は兵隊生活はもつと明かでなければならない、他人から縛られてゐるやうな氣持ではいけない……等々

□――□

こうした尊い体驗によつて大原氏は「ぜひ男の子は軍隊教育だけは受けさせてやりたい」さいつてゐるが、氏は當年四十二歳の働き盛り、議長としても必ずや立派にやつてのけるだらう、若し感情にこだはつて議事を妨ぐるやうなことがあらばこれ一つでもあれば大喝一聲叱り飛ばすだけの勇敢さも持つてゐるであらうと記者は多大の心強さを感じて別れを告げたのであつた

寫眞はホヤト自宅に路着いて明かに語る大原新議長

大同林業の設立は 當業者を脅す

けふ太子堂に業者悉く參集 反對の氣勢をあぐ

大同林業公司設立がえがく反對運動は吉林に端を發して遂に全滿的運動さ化し、八日午前十時から市内祝町太子堂階上に於て開會全滿各地から參集した各地木材商組合

代表　哈爾賓　高野　彦雄

新京　彼末德雄　佐藤精一

吉林　赤池八百作

奉天　友金正

安東　伊東助作

間島　中島信太郎

敦化　西森右衛門

（大連、鞍山、撫順欠席）

外新京在住同業者多數出席

新京彼末德雄氏議長席に就き開會

（一）關稅助成金に關する件（安東）を懇話

今年中を以つて滿了する助成金は單なる助成金にあらず關稅拂込金に該當すべきものなれば永久存續すべきものにして若し出來ざるときは滿洲國木材輸出關稅を撤廢すべし、さ決定次いで

（二）滿洲國木材輸出關稅撤廢に關する件（安東）を緊急動議さして提出可決、吉林、安東、新京、間島の代表者を實行委員さして選出委員附記さなる、次いで問題の中心議案たる

（三）大同林業公司設立に關する件（吉林）を提案、吉林代表者より提案理由さして

資本五百萬圓、二百萬圓は滿洲國鐵路總局、二百萬圓共榮企業會社外、林場所有者、百萬圓公募により設立することになり、その設立趣旨に贊成するも同公司設立のため奥地に於て一方に勢力、一方に資本に擁する小事業家が自滅すべき、生産合理化さは生産者より直接消費者に供給すべきものであるが、その中間に資本會社が介在することは不合理化である、よつて同公司設立に反對である、若し同公司設立の必要あらば同業者が事業をしてゐない黑龍江省その他の未開拓地を開拓する目的の林業會社に變更されたい

さ述べ問題の重大性に鑑み吉林組合稻村理事より説明の補足さして

今回の同公司設立の趣旨は林場整理のためで、吉林、敦化の林業者に對する影響を考慮してゐない故に吾々は同業者の失業に不安を感じてゐる、勅權的に林場を手に入れてゐる資本家の擁護、林場整理に急にして、世數年間營々辛苦林場開發に盡した實業家を自滅せしめ樣さしてゐる、然しこの產業統制會社の設立は、大同林業が滿洲國の嚆矢でこれが成否は、他の產業統制に大影響があるが、中小資本家が開發すべき事業さ、國家的大資本により開發すべき事業は自ら別がある、今回の大同林業の設立は中小事業家の勢力が國家的勢力に變つたが、斯の如き海外事業開發は歴史的に見ても中小事業家の開發に俟つべきである、朝鮮の營林署の成績に見ても判る、滿木王を今日まで指導した苦勞人が反つて材木が山に殘つた失敗を繰り返して今日まで來てゐる、やがてこれが他の產業部門にも斯の如き方法で統制會社が生れる、ことになることを思へば一吉林一敦化の問題ではなく全滿の問題である、この會社の創立は別に國家的に行はれる可きものでなく、又統制を必要するほど生産過剩や販賣の不統一は來してゐない、この林業より來だ統制を急ぐべき產業が外にある筈である

さ述べそれより大同林業公司設立に關する座談會を開き各代表者共意見の交換を行つて正午休憩午後十二時半再開大同林業公司設立反對、及び滿洲山林協會創立に關して議事を續行した

高女十周年 けふ第二日目

兵隊さんで大入り滿員

創立十周年記念第二日の新京高等女學校では折柄の日曜で まるで兵隊さんの慰安所の感があつた、まづ接待がかりの案内で展覽會場へ、こゝには生徒職員の全力を盡した鄉土資料室あり、全滿風土、風景を一堂に蒐めた縮刷版の繪だ額いて事變資料室、こゝでは例の兵隊さんは得意氣に回顧談に花を咲せてゐる、鄙都建設資料室、ラヂオ黎能時代（五學年生製作）は盛員の盛況、裁縫室に手藝室は生徒の製品精工な粹を蒐めてゐる、習字室に圖畫室さ續いて終りに喫茶室にはエプロンすがたの彼女達の走る足音も忙しかつた

こうして今新京人の慰安所の感を呈した十周年記念は午後の演藝會で終幕さなつた

愈よ十日から

新しい道路交通取締 運搬車は御注意

新京附屬地の幹線道路は殆んさ舗裝されたため新京署並に地方事務所で協議の結果一般道路及特殊荷馬車道路の二種に別け市内交通を統制することに決定し左の如き取締規程を公布し十月十日から一齊に實施することになつた

一、特種馬車は左記以外のものさ定む

（イ）二頭びき以上の荷馬車

（ロ）輪幅九糎以下の荷馬車

（ハ）輪面平滑ならざる荷馬車

二、特殊荷馬車道路さして左記を指定す

東五條通以東各道、日ノ出町、和泉町但し寬城子街道踏切以西鐵道線路に添ふ新設道路、鐵道北各道路附屬地外より附屬地を通貫する荷馬車は該道路に依ること

三、前項以外の道路を一般道路さし積載量一トン以下並長大物にして六メートル以下の普通荷馬車の通行支障なし而し交通整理上擴幅廣場、中央通、日本橋、吉野町一、二丁目、敷島通、室町一、二丁目の道路は通行を禁ず、但し横斷は支障なき限り通行を許す

四、普通荷馬車第一項（イ）の特殊荷馬車にして指定以外の道路を通行の已むを得ざる事情あるときは馬車主又は使用者に於て左記事項を具し地方事務所經由警察長の認可を受くべし

（イ）運搬目的

（ロ）運搬物件

（ハ）荷馬車台數

（ニ）期間

五、前項の認可を受けたる荷馬車は指定の標旗を表示すべし但し同旗は警察署に於て交附す

六、本取締規程は昭和八年十月十日より之を實施す

議長選擧 プツシゴ

議長候補さして早くから一般の口に上つた大原、沼田兩氏のうち大原氏はいよ〳〵新京初の議長に

めでたく當選した、この選擧前日大原、沼田、黑田の三氏護士がどこかの會合でひよつくり落合つたものだ、たまゝ明日の議長問題が持出され「いや大原君は議長に適任だよ」「いや違ふ、沼田君の方は歳上でもあり適任だ」さ双方讓譲の美徳を示して年少の黑田さんを困らせたさはさすが三人三樣、同じ商賣がたきなんぞちつさも意に介せぬさころ誠に和かで打解けたもの

□

流石は勛崎氏、前議長の貫録を示して副議長選擧にも堂々最高だつたが氏は何故か感ずるところあり辭任を申出た、あれで快く副議長をお受けするこさにでもなれば高慢前首相が何喰はぬ顔で藏相におさまつてゐるのにもたへて、もつさ人氣を博したであらうさ思はれたがしかし勛崎氏個人の立場になつて考へればいろ〳〵理由もあるのであらう

□

副議長にめでたく再選の得丸助太郎氏直ちに就任せず二三日考慮するこさになつた、同僚勛崎氏の氣持を汲んだかそれさも最初の投票が比較的僅少だつたのでそれに氣をかけたのか、いづれにしろそんなことは頓着せず新京市民のために盡いて貰ひたい

□

副議長としても呼ぶの高かつた沼田氏が大原氏が議長になるさ見て取つて「やはり新顔入り混ぜた方がよい」さ相變らず謙譲の美徳を發揮して開會前早くも引下つたのは人間沼田の面目躍如……流石は沼田さんださ感じさせたものだが、やつぱり人間は苦勞をして置きにいもの、たゞ一票はどうやら先輩を思ふ黑田氏の

名殘り惜しまれて 小林校長歸る

父兄會、卒業生から記念品

長らく新京公學校長を勤めた小林治郎氏はこの度家庭の都合で

「辭職」し、九日午後四時三十分龍列車で離京、鄉里廣島へ歸省することになつた七日午後七時より金興樓で同校父兄會主催の送別宴會が開かれ小林校長をはじめ職員全部陪席し父兄會側からは約五十名の出席者あり盛會裡に九時散會した、父兄會からは白金腕時計、置時計を同窓會より銀の櫛、同校出身の奉天南滿中學生一同より銀の櫛をそれ〴〵記念品として贈呈した、なほ九日午後の出發に際しては全校生徒、教職員一同、父兄會其の他多數關係知己が見送りこれを盛大ならしめるため驛頭で爆竹、花火等打ち揚げるこさになつてゐる、

「同校」を訪へば宋教師は氏に代つて次の樣に感想を述べた

長い間先生を慈父さ仰ぎ親しんでゐたが、御家庭の都合でおやめになつて力落してゐます、御家庭には老いた實母、實母が内地にあり、たつた一人のお嬢さんも病弱なため嬢さんを連れて鄉里廣島へお歸りになりますこんどおやめになつたのも先生の孝心さ親心のあらはれです、四月に辭表を出されたが父兄から切なる留任運動があつて翻意されたので今度は直接本社まで行つて辭表を出されたので今さなつては留めることも出來ません、先生は明治三十六年師範を出て二年後貞ぐ渡滿され特に蒙古語が達者で滿蒙の事情に通じたお方です、今でこそ日本人も滿州に關心をもつ樣になつたが先生はつさに滿蒙を研究されこんどの滿洲建國には先生の頂つてカあつたこさ大なるものがあつたこさ思ひます、大亞細亞主義の主唱者で日滿、日支提携を叫ばれた一人です、歸省後さ雖も機會ある毎に渡滿して亞細亞のため盡すさ申されてゐます

さ、小林氏は大正元年から大正六年三月卅一日まで同校初代校長さなり、四年街に轉任、四年後開原公學校に轉任、大正十三年四月六日再び同校々長さして着任以來九ケ年一日の如く日滿提携をモットーに兒童の教育に勉めた、後任は開原公學校長大隈氏さ決定近日中に着任するはずである

神兵隊事件の 天野辯護士護送さる

拘引狀を俟つて警視廳へ

神兵隊事件の資金提供の一人として警視廳から手配中の辯護士天野辰雄氏は事件發覺さゝもに直に滿洲に身を潜め新京、奉天に轉々と身をくらましてゐたが最近ハルピンに潜伏中を同地警察署員に發見され七日午後三時一先づ身柄不拘束のまゝ警察に護られ來京、關東憲兵司令部の自動車で三浦憲兵中佐宅に落着き警視廳の拘引狀の到着を待つてゐる

女中さん 御難

市内日本橋通八十四番地日本橋旅館女中安藤春代さんが柳行李に衣類百余圓のものを入れ去る三日から七日迄同家廊下に置いてゐたがいつの間にか衣類全部が拔取られてゐるを發見し新京署に屆出た

立教勝つ

慶立二回戰

（東京七日發國通）秋季リーグ戰立教對慶應野球第二回戰は七日午後二時より慶應先攻で開始されたが結局五A對二で立教の勝利に歸した

△スコアー

慶應 0 1 0 0 0 1 0 0 0 ―1

立教 0 0 2 0 0 0 0 0 A ―2

5A―2

△バッテリー

慶應　三宅、岸本、樓井

立教　影浦、菊谷、百瀬

5A……2

オールトーキー 昭和新撰組

長春座は九日から左の二大篇を上場する、その一は本年キチマ週報一等當選の大作發聲版昭和新撰組は日活脱退七人組が主演、伊藤大輔原作、監督、内田吐夢應援監督、演出指導として村田實、撮影は伊佐山、主演者は小杉勇、佐久間妙子、島耕二、瀧花久子、日活黄金時代の名キャスト二度さ見られぬさ斯界ではこの映畫に興味を寄せてゐる＝梗概＝政界ギャングの親分伴睡司さその四天王を相手に正義さ情熱の昭和新撰組は新時代の武器、强力電波裝置の完成さ共に、敢然彼等社會無撰滅に立つた、銃聲は深夜に一發轟然肉彈火花を散らす戰端は開かれる……？

又同時併映に決定された、映畫が又見落勿れ「猛獸亞弗利加は語る」はアフリカ西海岸ラゴンより東海岸モンバサに至る二千哩の踏破記錄映畫!!オールトーキーの二大篇九日十日兩日十日は（實夜公開）さなつてゐる

ラジオ

九日（月）新京

午後五、〇〇　子供の時間　拳

同　五、二〇　ニュース　英語

同　五、四〇　ニュース　露語

同　五、五〇　ニュース　鮮語

同　六、〇〇　ニュース　東京より

同　六、二〇　語學講座　滿洲語、講師、高宮喜鳥

同　六、四〇　語學講座　日本語、講師、植松金枝

同　七、〇〇　演藝　滿語

同　七、二〇　講演　滿語

敦圖鐵道沿線視察感想

哈爾賓公報新京支社長　吳宇存

同　八、〇〇　ニュース　滿語

同　八、一〇　特別　東京より

同　八、二〇　ニュース　東京より

同　八、四五　ニュース　氣象　豫報

同　九、〇〇　講演　滿洲の氣象に就て　關東憲兵觀測所新京支所長　宍戸新次郎

演藝、哥謡（イ）短歌　哥謡　芳野保（ロ）紀の國（ハ）ワシカ忠ヒ

引續き明日のプログラム豫告

瀬川元代議士 逝去

（東京七日發國通）民政黨元代議士瀬川光行氏は六日午後九時逝去した、享年七十

新京日日新聞社 營業部 電三三〇〇番

新らしく新京に生れた

森自轉車商會の 開店サービス大賣出し

十月五日より十月十日限り

一割引

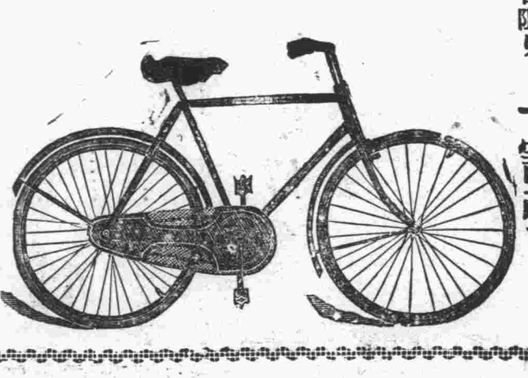
實用堅牢自轉車

特價二十八圓

品質体裁共に他店の追從を許さず

百聞は一見に如かず！ 是非御來店を……

御照會の際は早速參上仕候間是非御用命願上候



新京永樂町二丁目四ノ二 森自轉車商會 電話四八四九番

▲愈々九日封切▼

日活脱退七人組が放つ最巨彈！

●畫映聲發全●

小杉勇　島耕二　瀧花久子　佐久間妙子　主演

昭和新撰組

特別上映

猛獸國亞弗利加は語る　オールトーキー　日本版

座春長　提供　松浦商會

慶安異聞 艶魔地獄

（映画化）

玉水三郎

（絵）長谷川小信

（五十九）

（前回の要旨）大恐怖の青山主膳は、用人柵川忠太夫に向って、

『やっぱり家人は呼かんなら。お菊は駄目が判らんが、お八重は流石遊女渡世もしたものだけ、修ちゃ心を聞いて予が心に従ふと申す。イヤ案じるより生むが易いとは此こと。さテ是から久し振り内祝ひと致さう。昨年の暮から流に氣心悪く思ひ居つたが、最早八重が予の妻となつた以上は、一家圓滑である……其前祝ひちや。邸内の者『喜くへ今宵は大騒振舞を致せ』

忠太夫もニコ〳〵。

『イヤ駄婆に目出度い事はござりませぬ。第一大切の身の代金も、一文も出さず、引祝ひとも唐犬權兵衛が致したので、當方は濡れ手で粟を掴んだも同然。御前祝着至極に存じ奉ります』

……エ、我君、是にて御祝儀は柵忠太夫に向って、

『やっぱり家人は呼かんなら。お菊は駄目が判らんが、お八重は流石遊女渡世もしたものだけ、修ちゃ心を聞いて予が心に従ふと申す。イヤ案じるより生むが易いとは此こと。さテ是から久し振り内祝ひと致さう。昨年の暮から流に氣心悪く思ひ居つたが、最早八重が予の妻となつた以上は、一家圓滑である……其前祝ひちや。邸内の者『喜くへ今宵は大騒振舞を致せ』

忠太夫もニコ〳〵。

『イヤ駄婆に目出度い事はござりませぬ。第一大切の身の代金も、一文も出さず、引祝ひとも唐犬權兵衛が致したので、當方は濡れ手で粟を掴んだも同然。御前祝着至極に存じ奉ります』

主膳は大きく頷いた。

『一同の者、今宵は内祝ひの事である。他に人は居らぬ。然りと過ごせよ……コリヤ八重、近づきとして家來衆に女共へ盃を遣はせ』

『長まりました』

お八重は主膳の隣席に侍り客のやうにして坐つてゐたが、盃を取つて柵川忠太夫より始め、順々に盃をやつた。

『お部屋様のお盃を、有難き仕合せに存じまする』

『御返盃は失礼、此儘頂戴仕りまする』

忠太夫は自分が前に懐れ込んだ女だけに、今となつて少々は嫉妬心も出るが、傾分主人のする事ゆえ一言もなく聴へてゐる。そして苦しいお世辞を言ふ。

『エ、左様にお二方お列び遊ばしました處は、ほんに酔うお似合の女夫雛、のう一同の者』

『左様でございます。ほんに私もこれを拝見しまして、もう安心致しました』

斯う言つたのは女中頭のお熊元祝駄であつた。

主膳は目をトロリとさせて、お八重を眺みつゝ、

『オ、大分酩酊致した。八重其方へ案内致せ』

『長まりました』

『コリヤ一同の者、立たずと可い其まゝ〳〵。身共が居つては、一同窮屈であらう。跡は打寛いで過ごすが可いぞ』

常にない辯を利かせた主膳、お八重に手を取られて、居間もよろ〳〵として臥床の方へ行く。

臥床へ入ると同時に、雪からの勞れと、酔ひとが一度に出て、直後も知らぬ高鼾となつて了つた。

お八重は次の間で着物をすると見せて、懐中の懐剣を取り出した。

邸中の男女の家人を、奥へ呼入れて其夜は家外の警戒となる。

用人下役、若徒小者中間が『お目出たう〳〵』と言つてやつて来る。

勝元から伸縮お米に至るまで之も『お目出たう』の連発で奥へやつて来る。

忠太夫は仕出し屋へ申附けて、二十人前からの料理を取寄せる。

奥の廊間には主膳を床の間に、右手へ大徳のお八重の位を飾き、夫婦の如く列ばせ、左右末席に至るまで、ズーッと各自座を定めて膳部が列び、是から酒宴となる。

忠太夫は主膳に一献し、お八重にも盃盤をした。

『エ、今夕は流に祝宵の至りに存じ奉ります……現お八重殿、今日よりは主君お身近くお仕へに相成ります事、是亦御祝儀を申上げます……コレ一同の御家衆家来、お女中方にも能く聞かつしやい。今日よりお八重殿には、我君お部屋様にお成遊ばしてござるぞ。隠分共に能ひ仕づかねば相成りませぬぞ

大阪商船出帆

門司、神戸（大阪）行

△三等船客設備船

（午前十時大連出帆）

亜米利加丸　十月　九日

うらる丸　十月　十日

はるぴん丸　十月十二日

×たこま丸　十月十三日

香港丸　十月十五日

うすりい丸　十月十六日

ばいかる丸　十月八十日

×しあとる丸　十月十九日

●切符發賣所

鐵道沿線主要各驛及各地タヤ　ンフーリストビユー

●案内所

船車連絡切符（往復切符八　賃車二割引、賃船一割引、

運用期間二ヶ月）

大連、門司、神戸間乗船切　符（往復切符八復路運賃二）

割引運用期間三ヶ月）

●專屬荷扱所

各地國際運輸會社支店

大阪商船株式會社

大連支店

電話四一三七番

奉天出張所電話四〇八九番

新京出張所電話二二一六番

●一白の人　吉運を雖輕卒に事を企つれば不安を増す日　辰と未と丑が吉

●二黒の人　身心動搖し進退決せず遲々として得るなし　甲と丁と亥が吉

●三碧の人　目的は成功に近付つゝあり投機は外るべし　未と庚と癸が吉

●四緑の人　内外を堅固に守るべき日誘惑は危険と知れ　辰と未と癸が吉

●五黄の人　時機早きに失して意の如くならず辛抱肝要　庚と亥と壬が吉

●六白の人　不用意の言動に依り思はぬ失敗を見るべし　丙と申と戌が吉

●七赤の人　一方を切り拔くるも一方より攻められる如し　甲と丁と未が吉

●八白の人　榮譽を求く保ち雖く不安の念の起るべき日　丙と壬と丑が吉

●九紫の人　運氣旺盛なれど目下の當に苦勞する事あり　乙と庚と癸が吉

十月九日　月曜　戊申　先負　開　畢宿

乳牛は素の康健

品質第一

牛乳ハ三宅

健康の要素の凡てを含有するは牛乳の他にはありません

牛乳の御用は皆様の三宅牧場

電話二〇八八番

御料理

慶祝ムヨチ　カムコギー　扇子團扇

新京　出田吟味堂　東二條通

進物用品

趣味蒐集　マッチレッテル

會席御料理

博多水たき　小鉢物　鍋料理

氣持のよい御座敷自慢の御料理

ホール食堂部

和洋食簡單に御食事が召上れます

三笠町三丁目新京銀行前

食堂樂竹葉

電話三八〇一番

英國製高級煙草

フェデラル

コルク口付

●酒よし●味よし●女よし

東一條通　精養軒　電話五〇三二

診療受付　正午より午後三時まで

内科　小兒科

杏林堂醫院

中島信之

電話二五二〇番

内科、小兒科

醫師　堂脇サト子

隨時往診の需に應ず

出前迅速

ぜんざい　ぞうに

割烹藪虎

電話三四四五番

既に定評あり

青井表具店

新京東二條通り　電話三四六四番

ムーリク身美ブラク

すで力魅の性女は肌いし美

うせまし愛をムーリク身美

日ヤケ止めに……

アレ止めに……

お化粧下に……

洗顔の後に……

入浴の後に……

水香ラヤキブラク……水香ンラブルブラク……ムラーベブラク

廣告の御用は電話三三〇〇番へ

會席御料理

蓼廼家

富士町一丁目

電話二五〇七番

歯科一般口腔外科

田中醫院

新京吉野町一丁目十四番地

電話三七〇九番

京城歯科醫學士田中勳

城京歯科醫學士内田清三郎

診察時間　自午前八時至午後六時（日曜祭日午後休診）

防寒靴

破格提供

合理的販賣

見よ！

品質に！

技術に！

値段に！

他店の追從を許さぬ當店の躍進振りを…

竹屋靴店

電話二〇五二番